質問順位	7	質問者	関藤龍也 議員

件名	項目	要旨	メモ
1．福祉行政	1．子育て支援について	1．平成26年第３回定例会でご答弁いただきました、多子世帯に対する支援につきましては、保育料の無料・減免措置が取られているとのことでしたが、中・高生に対しては国・道の補助制度がなければ市単独では行えないとのことでした。やはり多子世帯にとって一番お金がかかるのは教育費で、高学年になってからです。大学に進学させてたくても家計的に低所得で厳しいとされる家庭が40％以上だという調査結果もあるようです。滝川市が充実した子育て支援のまちと言われるためにも、市の財源が厳しいことは承知しておりますが、多子世帯に対する支援についてのお考えを再度お伺いします。	
		2．多子世帯を支援するための財源確保と新たな減免措置を検討すべきと思います。限定的に、例えば、減免措置として水道料金の減額、財源としては、以前質問させていただいた法律上可能とのことでした自主課税権の法定外目的税や法定外普通税の徴収による支援について、再度見解をお伺いします。	
2．教育行政	1．教員の部活顧問について	1．教員の部活顧問制度は、見直しすべきではないかとの見解がありますが、本市の実態調査と課題について、平成28年度のご答弁で時間調査等、必要性について検討するとのことでした。私は詳細な調査を行い、その解決策を検討すべきと思いますが、その後調査は行われたのかお伺いします。	
		2．現行の部活動制度が抱える問題には、教員側からの視点と生徒、保護者側からの視点が考えられますが、教育委員会としての認識についてお伺いします。	
		3．この問題の解決策についての見解をお伺いします。	